

5 外科

基本研修（2ヵ月）

（1）一般目標

幅広い基礎力を持つ医師となるため、外科一般について基本的な知識（検査、診断）、技術の習得及び態度を身に付ける。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の習得

- ①結紮、縫合、切開などの基本的手技を行うことができる。
- ②頸部、胸部、腹部、乳腺、ヘルニア、肛門など外科疾患の診察法を施行できる。
- ③標準的手術および緊急手術の手術適応を理解できる。
- ④手術適応を決定するのに必要な検査を理解できる。
- ⑤術者、助手の役割を理解できる。
- ⑥周術期の病態と、標準的手術の術前術後管理方法が理解できる。
- ⑦一般外科症例のプレゼンテーションを行うことができる。

2）治療の実践

- ①指導医とともに担当患者を受け持ち、日々診察を行い、指導医または上級医の指導のもとで検査、投薬などのオーダーを行う。
- ②担当患者が手術を行う場合は、指導医と手術方針についてのディスカッションを行い、その結果を術前症例提示としてカンファレンスで簡潔に発表する。
- ③定期手術に助手として参加するとともに緊急手術に参加することもある。簡単な手術では術者として参加することもある。
- ④手術中あるいは術後などに、基本的手技についてのフィードバックを受ける。
- ⑤CVカテーテル挿入、各種穿刺ドレナージ術、術後X線検査などを指導医または上級医の指導のもと実施する。また、その手技についてフィードバックを受ける。

選択研修（1ヵ月以上）

（1）一般目標

外科の専門的トレーニングを行うために必要な基礎力を身に付けるため基本的な知識（検査、診断）、技術の習得及び態度を身に付ける。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の向上

- ①結紮、縫合、切開などの基本的手技を行うことができる。
- ②頸部、胸部、腹部、乳腺、ヘルニア、肛門など外科疾患の診察法を施行できる。
- ③標準的手術および緊急手術の手術適応を理解できる。
- ④手術適応を決定するのに必要な検査をオーダーできる。
- ⑤術者、助手の役割を理解できる。
- ⑥上級医の助手とともに簡単な外科手術を施行できる。
- ⑦周術期の病態を理解して、標準的手術の術前術後管理ができる。
- ⑧一般外科症例のプレゼンテーションを行うことができる。

2）治療の実践

- ①指導医または上級医の指導のもとに担当患者を受け持ち、日々診察を行い、指導医または上級医の指導のもとで検査、投薬などのオーダーを行う。

- ②担当患者が手術を行う場合は、指導医と手術方針についてのディスカッションを行い、その結果を術前症例提示としてカンファレンスで簡潔に発表する。
- ③定期手術に助手として参加するとともに緊急手術に参加することもある。簡単な手術では術者として参加することもある。
- ④手術中あるいは術後などに、基本的手技についてのフィードバックを受ける。
- ⑤CV カテーテル挿入、各種穿刺ドレナージ術、術後 X 線検査などを指導医または上級医の指導のもとに実施する。また、その手技についてフィードバックを受ける。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	回診／外来 ／手術	回診／外来 ／手術	放射線科、消化器内科との 合同カンファレンス ／回診 ／外来／手術	術前カンファレンス ／回診 ／外来／手術	回診／外来 ／手術
午後	手術	手術／検査	手術	外来／検査	手術

第 2 火曜日、第 4 金曜日午前 8 時からの呼吸器内科との合同カンファレンスに参加
毎週水曜日午前 8 時からの消化器内科、放射線科との合同カンファレンスに参加